

2011 年2月3日

関係各位

(財)日本サッカー協会審判委員会
委員長 松崎 康弘

ストッキング上に着用するテープ等の色について

サッカーおよびフットサル競技規則第4条(競技者の用具)には、“両チームは、お互いに、また主審や副審と区別できる色の服装を着用しなければならない。”と規定されています。しかしながら、ストッキングの主たる色と異なる色のテープ等がストッキングの上に巻かれ、色の区別が困難になるケースが散見されています。

この状況に対応すべく、2010 FIFAワールドカップ南アフリカ大会においては、着用するテープ等の色はストッキングの主たる色と同色とされました。また、アジアサッカー連盟も AFC アジアカップカタール 2011 など同連盟の大会において、FIFA と同様の措置をとることとしています。

については、対象の全国リーグ、トーナメント決勝大会においては、FIFA、AFC に倣って下記のとおりといたしたく、対応方よろしくお願いいたします。

記

1. 措置の内容

ストッキング(ソックス)の上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はストッキング(ソックス)の主たる色と同じものに限る。

2. 対象リーグ等

Jリーグ、JFL、天皇杯全日本サッカー選手権大会決勝大会、なでしこリーグ、Fリーグ、全日本フットサル選手権大会

*これ以外の大会については、各大会規定で規定する

3. 実施時期

2011年シーズン各リーグ、トーナメントから

4. 異なる色のテープ等が巻かれていた場合の対応

- ① 試合前に確認された場合、ストッキングの主たる色のテープに変更するか、テープ等を外すよう求められる。修正されない場合、試合の出場は認められない。
- ② 試合中に確認された場合、テープ等を外すよう求められる。外すことができない、またはそれを拒んだ場合は、次に競技が停止されたとき、フィールドから離れるよう命じられる。

フィールドから離れた場合、テープ等を外すか、ストッキングの主たる色のテープに変更され、主審等によって確認された後、ボールがアウトオブプレーになった時に試合の出場が認められる。

以上

<具体例>



= 認められる =



= 認められない =